

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)	めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	I 地域課題への取組						
地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている			防災に向けた地域の支えあいコミュニティ形成	5月11日	なにわ区ラボ『最新ボウサイ事情』開催	地域コミュニティで取り組む防災活動についての勉強会。尼崎市の私立高校が地域住民を巻き込み開催する防災イベント「カエルキャラバン」の紹介や、大阪市立大学講師による最新事情の紹介。また、防災意識の向上につながるすごろくやカードゲームなども紹介し、防災を学びながら人とのつながりをつくるアイデアを学ばせつけた。 (左から:会場全景／事例報告のようす／防災ゲーム紹介のようす) 	12名参加。 内訳は、地活協会長、役員、防災リーダー等。アンケートでは、防災ゲームについて「将来的に地域での活動の参考にしたい」という意見があった。
				7月15日発行	広報誌なにわ区ラボで特集『まもる！浪速区』	なにわ区ラボ『最新ボウサイ事情』の開催報告のほか、各地活協と区役所の取り組み「避難所開設・運営訓練」等を紙面で紹介。 (左から:表紙／防災を特集した中面／浪速区のヒーローに取材した最終面) 	5000部発行。 (区内外43施設と区内小中学校生徒に配付。)
		地域課題やニーズに対応した活動の実施	既存の事業のブラッシュアップと活動の充実	6月15日	なにわ区ラボ『おしえてとなりの食事サービス』開催	「高齢者食事サービス」事業について、実施地域のスタッフの情報共有を目的とした勉強会。各地域の会場風景・食事メニュー・レクリエーションの様子を写真で紹介して特徴をつかみ、後半のグループディスカッションでは、担い手不足などの課題解決や運営の工夫などについて意見交換を行った。 本企画の実施に向け、まちづくりセンターの支援員が各地域の食事サービスで聞き取りをもとに、浪速区社会福祉協議会の担当者も交えた打ち合わせを行った。また、区役所保健福祉課から衛生講習の案内を加えるなど、「高齢者食事サービス」に関わる関係各所と連携しながら開催した。 (左から:各地域の写真展示／ディスカッションのようす／各テーブルの発表) 	39名参加(食事サービスを実施する全9地域から参加) 「他地域のボランティアスタッフとの情報交換ができ参考になった」との意見が多数あがったほか、後日衛生講習会を実施した地域もあった。
			【期末】子育て支援に向けた地域コミュニティ醸成	1月10日	広報誌なにわ区ラボで特集『子どもと浪速区』	区内の地活協で取り組む子ども見守りや子育て支援活動にスポットを当てるとともに、各地活協の子ども対象事業を紹介。また、なにわ区ラボの開催報告や区内で活動する吹奏楽団の取材記事等を紙面で紹介。 (左から:表紙／見守り活動の特集した中面／地域の吹奏楽団に取材した最終面) 	5000部発行。 (記事関係者含む区内外の66の施設や団体、区内小中学校生徒などに配付。)
	法人格の取得						

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
Ⅱ つながりの拡充						
イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進	マンション住民に対して地域活動の周知と参加を促す取り組み	6月～	区内分譲マンションのデータベース作成	インターネット上の不動産データベース等を元に、区内の分譲マンションの棟数、場所、管理状況、戸数等をデータ化した。	約50棟の分譲マンションのリストが完成し、4地域に特に集積していることが明らかになった。
			7月～9月	分譲マンションへの住民アンケート実施	データベースから50戸以上の分譲マンションを中心に22棟をピックアップし、1棟ずつ訪問するなどしてアプローチを行った。管理会社や管理組合に対してアンケート実施を依頼し、10棟で実施した。依頼の方法については、宅地建物取引業協会の浪速地区長へのヒアリングを内容をもとに方針を立てて行った。 アンケートでは、マンション住民の地域活動への参加状況や意識について調査。調査票には浪速区まちづくりセンター発行の「なにわ区ラプ」「地活協パンフレット」及び浪速区報「なでしこ」などを同封し、情報発信の機会とした。 (写真左から:調査票と同封物/回収箱/掲示のようす) 	約50棟の分譲マンションのリストが完成し、4地域に特に集積していることが明らかになった。 実施依頼22件、実施10件。配付数928枚に対して、回収数187枚(回収率20.2%)であった。 一部の協力的なマンションでは、避難訓練の告知や防災マップの掲示が実現した。 【期末】集計結果をまとめた報告書が完成し、1地活協で報告会を開催した。今後、調査協力マンションへも報告予定である。この結果をより多くの住民に届け、マンションと地域で取り組む新事業の提案できる資料として活用するために概要版を作成中である。
			8月25日	なにわ区ラポ『地域とマンション』開催	マンションコミュニティについての勉強会を開催。まず共同住宅が95%という浪速区の住宅特性を形態、居住年数などから把握したのち、平成25年度実施の地域課題調査から地域活動への参加意欲を分析した。 次に、町会と防災勉強会を行うマンションと、子育て交流会を実施するマンションからの活動報告を行い、近畿大学講師からコメントと解説をいただいた。 (左から:事例報告の様子/近畿大学講師による解説) 	18名参加。 マンション増加を課題ととらえる地域役員を対象に企画したが、他区のまちづくりセンターからも多数参加があり、このテーマへの関心の高さがうかがえた。
			【期末】9月15日発行	広報誌なにわ区ラプで特集『暮らす。浪速区』	統計調査や地域課題調査結果からよみとる浪速区の住宅事情や住まいと地域活動の関係について考察。なにわ区ラポ『地域とマンション』の開催報告を中心に構成した。その他、地域で活動する太鼓集団「怒」も紹介した。 (左から:表紙/地域のコミュニティづくりと暮らしについて特集した中面/太鼓集団「怒」に取材した最終面) 	5000部発行。 (記事関係者含む区内外の63の施設や団体、区内小中学校生徒などに配付。)
		ボランティアスタッフの運営支援	5月～	ふれあい喫茶、食事サービス事業のリーダー制の導入とリーダー会議運営支援	・従来は女性部長を中心に運営していたふれあい喫茶と食事サービス事業を、組織的・効率的な運営体制とするため、班による運営と、情報共有のためのリーダー会を提案した。リーダー会議のファシリテーションを通して、その場で意思決定する形態への移行を試みている。	日東地域活動協議会 リーダー会では、メニューや広報の工夫について積極的な提案へ改善がみられる。